

パドボグランプリ競技規則 (2017年 改定)

1: 責任の所在

- 1) 大会の主催者および実行委員は人員及び道具に対する全ての損害の責任を負わない。
参加選手は自己の責任において参加申込みを行い、併せて保険の付加を行う。
- 2) 一切の責任は、参加選手に帰属する。
スタートするか否か、或いは競技を継続するか否かを決める責任は選手各自で負う。
- 3) 大会主催者および実行委員は、種目および各ヒートの準備に対するアナウンスを行なわない。
各選手は自分が出場するヒートを確認し、ヒートのスタートに遅刻しないよう準備を行う。
- 4) レスキューが必要となった選手は、その競技を棄権したものとみなす。
またその選手をレスキューするにあたり、ボード等を放棄させる場合がある。
- 5) 実行委員、審判、あるいは他の選手に対し、暴言や故意に危険を及ぼすような行為と判断された場合には、その選手はすべての出場種目において失格となる。
- 6) 競技規定に明記されたルールおよび装備や安全対策を励行すること。
これに同意出来ない選手は大会に出場する資格を失う。

2: マナー

- 1) パドボグランプリに参加する全ての選手および運営スタッフの全員は、スタンドアップパドルボーディングの理解者であり、本大会の関係者としての誇りを持って行動する。
- 2) 大会の名誉及び品位を著しく損なうような行為及び言動を示す場合は、大会の出場を停止し、以後の大会への参加停止。および罰金等のペナルティーが与えられる。

3: エキップメント

- 1) ボードはエントリーするカテゴリーの規定に合ったものを使用すること。
- 2) パドルはシングルブレードを使用すること。
- 3) 必ずリーシュコードを装着すること。
- 4) ライフジャケット、ウエットスーツなどの着用、および通信機器の携行を義務付けられる場合は、これに従うこと。

4:定義

●スタート と フィニッシュ

ボードに乗った状態で、選手の体がスタートラインあるいはフィニッシュラインを横切ったとき。
または決められた見通し線上を横切ったとき。

●ゴール

陸上に設置されたゴールエリアに到達したとき。そのタイムが記録される。

●ワイプアウト中

身体がボードから離れ、水に浸かっている状態をいう。

●復元中

身体が水から出て、ボードの上でスタンドアップにてパドリングが可能になるまでを復元中という。

●カミング・イン ゴーイング・アウト

ボードが岸に向かう状態をカミング・インという。

ボードが沖に向かう状態をゴーイング・アウトという。

●サーフィン

ボードが波に乗り、パドリングせずに推進力を得ている状態をいう。

●クリア・テール、クリア・ノーズ

2本以上のボードが同じ方向を向き、水平に並んでいる状態において、ボード(A)のテールから真横に引いた仮想線よりも他のボード(B)が後方にある場合、(A)のボードはクリア・テールといい、(B)のボードはクリア・ノーズという。

●オーバーラップ

2つ以上のボードが同方向に向かって水平に並び合っている状態にあり、クリア・テール、クリア・ノーズのいずれの状態ではない場合をいう。

●オーバーテイキング

推進するボードが、先行するボードのクリア・テールからオーバーラップし、先行するボードを超えて完全にクリア・テールの状態になるまで、そのボードはオーバーテイキング中とみなされる。